

ロタウイルス・小児の肺炎球菌感染症の接種間隔について

1. ロタウイルス感染症予防接種

◆生後 14 週 6 日までに初回の接種を受けましょう

初回の接種を生後 2 か月から生後 14 週 6 日までに行います（生後 6 週から接種できます）。初回の接種を生後 15 週以降に受けることはおすすめしていません。2 回目以降の接種は 27 日以上の間隔をあけて行います。

	回数	接 種 間 隔 ・ 回 数
ロタテック® 5 価経口弱毒性ロタウイルスワクチン （5 価）	3 回	※ 2 回目以降の接種は生後 14 週 6 日の前後いずれでも接種できます。
ロタリックス® 経口弱毒性ヒトロタウイルスワクチン （1 価）	2 回	※ 2 回目以降の接種は生後 14 週 6 日の前後いずれでも接種できます。

2. 小児用肺炎球菌感染症予防接種

小児用肺炎球菌感染症予防接種は、肺炎球菌による重い感染症（細菌性髄膜炎、敗血症など）の予防を目的とします。

●対象年齢：生後 2 か月以上 5 歳未満

●接種開始時期等によって接種回数が異なりますので、ご注意ください。

初回接種開始年齢	回数	接 種 間 隔 ・ 回 数
標準 生後 2 か月以上 7 か月未満 初回 3 回 追加 1 回	4 回	※初回 2 回目、3 回目は 2 歳未満までに終了させ、2 歳以降は接種を行わない（追加接種は可能） ※初回 2 回目が 1 歳を超えた場合、初回 3 回目の接種は行わない（追加接種は可能）
生後 7 か月以上 1 歳未満 初回 2 回 追加 1 回	3 回	※初回 2 回目は 2 歳未満までに終了させ、2 歳以降を超えた場合は行わない（追加接種は可能）
1 歳以上 2 歳未満 初回 2 回	2 回	
2 歳以上 5 歳未満 初回 1 回	1 回	